

ふるさと歴史散歩 203

～松前史談会レポート～

雪勝の桜 出会いは、人生の妙Ⅰ

松前町筒井の大智院に、「雪勝の桜」という名前の緋寒桜があります。明治天皇が直々に命名されたのではないかと、ひそかに考えております。その由緒によれば日清戦争(1984～95年)の時、広島大本営におられた明治天皇をお慰めするため伊予郡の人々が訪ねました。その折にこの桜木の一枝を献上したところ、それを機に日本軍の連戦連勝が始まったのです。後に宮内省(当時)の櫻井さんから感謝状が届けられ、この桜の名前も贈られました。「さては、櫻井忠温の兄弟か親戚か」と思いましたが、この櫻井さんは島根県の人でした。この一行の中に、後に余土村長を勤め盲天外と称した森恒太郎もいたのではと思っています。

この大切な桜の木が弱っていると聞いて様子を見に行ったら、この寺の総代をされている仙波さんにお会いしました。樹医に診てもらい、手を尽くして樹勢の回復に努めているとお話でした。そして令和4年、見事に花をつけました。

この寺には後藤又兵衛夫妻の供養塔、俳人野沢喜久三郎、教育者赤星大龍、水利土木の西谷広助などの

頌徳碑があります。矢野地蔵と筒井門の話に出てくる順諦大和尚がこの寺の開山住職です。仙波さんのお父さんは、松前町誌の編纂に関わった方で、お名前をよく知っていましたので話が弾みました。この出会いが後半の話の始まりです。次号に続く。(鶯野記)



❶ 雪勝の桜 この緋寒桜は、例年は旧暦正月15日頃に咲いた。本殿の前には接ぎ木した若木も植えられ、関係者の思いが伝わってくる。
❷ 元気になった雪勝の桜 山門を入ると、すぐ左側(写真右奥)に後藤又兵衛夫妻の供養五輪塔が見える。樹勢が旺盛な頃は、遠くからも目立ったという。(写真提供) 水本諭さん＝浜＝



4月の歴史散歩は実施しません。

問 松前史談会(麻生) ☎ 090-4472-8136



【開館時間】 9時～22時 【休館日】 12月28日～1月4日
◆東公民館 神崎 210 ☎ 984-1159 FAX 984-1457
◆西公民館 北黒田 966-2 ☎ 984-5313 FAX 984-5313
◆北公民館 昌農内 456-1 ☎ 984-7529 FAX 984-9398

北公民館

毎月順番に活動内容をお届け！

寿大学を開催しました



㊦熱心に耳を傾ける参加者たち
㊦「気を付けてくださいね」伊予警察署からチラシの配布

65歳以上が対象の寿大学で1月12日、「悪徳商法の手口と対処方法」をテーマに講座が行われました。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、5カ月延期の末に開催された本講座には、36人が参加。伊予警察署の池田弘志氏の講話では、悪徳商法のさまざまな手口について具体的な事例紹介とともに、事件に巻き込まれないための対処方法を分かりやすくご指導いただきました。

令和3年度の寿大学は、残念ながらコロナ禍の影響で全7回のうち3回の講座が中止になりました。令和4年度も新たに募集しますので、皆さんぜひご参加ください。



Let's Enjoy Books

ふるさと ライブラリー

◆開館時間 9時30分～19時
◆問い合わせ ☎ 985-4140 FAX 985-1386
<https://www.i-masaki.jp/library/>
◆4月の休館 28日(土)、30日(日) AM

おはなし会
16日(土)
11時～
文化センター
2階ふるさと学習室

※ 感染症対策を強化して開館しています。最新の利用状況は、館内掲示と上記ホームページで確認を。

◆4月の新着本 紹介

毎週新しい本を入荷し、新着本コーナーに展示しています。

▶青い雪
麻加朋・著
光文社



夏の数日を共に過ごす3組の家族。最年少の少女が失踪し、穏やかな避暑地での日々は永遠に失われた。それぞれに秘めた複雑な家庭の事情と、長い時を経て発見された一通の告発状。絡み合った謎が氷解したとき…

▶高望の大刀
夜弦雅也・著
日経 BP 日本経済新聞出版
本部



平安前期。事故で今上帝を傷つけてしまった高望は、謀反の罪に問われる。長い労役の後、朝廷の企みを知った高望は…。平高望を主人公とし、平安の裏面史を大胆に創作した歴史活劇。作者は愛媛大学出身

▶名探偵と海の悪魔
三角和代・訳
文藝春秋



17世紀。大海原を進む帆船で起こる怪事件。だが名探偵は罪人として護送される途上で牢にいる。元兵士の助手アレントは、頭脳明晰な総督夫人のサラとともに捜査を開始するも、密室で殺人が…。本格ミステリー小説



◀50代、家のことで困ってます。
長谷川高・著
WAVE 出版

人生後半で家を買うのは若い頃と違ったリスクがある。「無理なローンは絶対に組まない」「老後資金は必ず確保する」「実家はどうか」など、50代のための失敗しない家の売り買いの基本を、Q&A形式で解説する



◀茶呑みめし
大原千鶴・著
文藝春秋

忙しくても、暮らしを段取りよくまわせたうええやん！人気料理研究家・大原千鶴によるエッセイ集。自宅のキッチン改装で見つめた心晴れやかな暮らし方などを綴った、おいしくて役に立つ88話を収録。普段のおかずレシピ付き



◀うまれることば、しぬことば
酒井順子・著
集英社

陰キャ、根暗、映え、生きづらさ…。あの言葉と言いはなぜ生まれ、なぜ消えていったのか。古典や近代の日本女性の歩みなどに精通した著者が、言葉の変遷をたどり、日本人の意識、社会的背景を掘り下げるエッセイ